

FRONTEO AI Innovation Forum 2021

今を識り、未来を識るインテリジェンス



8年を超えるAIの運用実績

事業領域

収益基盤であるリーガルテックAI事業とAIソリューション事業を展開

2003年（創業時）

リーガルテックAI事業

- ディスカバリ(証拠開示)
- フォレンジック(不正調査)



2012年

Kibi+

🇺🇸 司法省調査 / 🇺🇸 民事訴訟

国内不正調査の実績 **10,100**件以上

2014年

AIソリューション事業

- ビジネスインテリジェンス分野
- ライフサイエンスAI分野



2018年

concept Encoder

金融、知財、人事
ライフサイエンス

導入企業数 **253社**

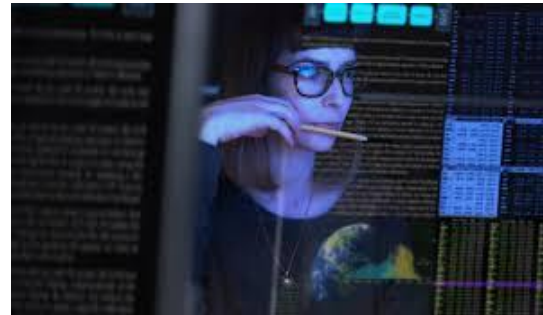
金融		<p>金融庁様 FinTech実証実験ハブ (2018.8 報道発表)</p>	法務	
知財		<p>特許庁様 不明確な商品・役務チェック業務の高度化・効率化実証的研究事業 (2018.6 報道発表)</p>		
営業CS				

専門家の判断を支援するインテリジェンステクノロジー

ディスカバリ作業



犯罪捜査



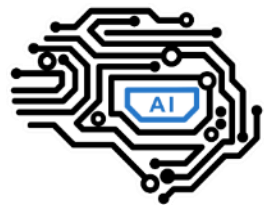
内部監査



特許分析



特定の分野における特別な知識やスキルを持つ人が必要な分野
 = 現在ではデータサイエンティストが必要な分野



専門家の判断支援はデータサイエンス分野へ

創薬研究



医療診断



看護・介護



情報収集時の個別最適化の問題点



優先順位づけが困難 抜け漏れ、被りが不明
他社、他国の着目するターゲット 個々のカバー範囲が不明瞭





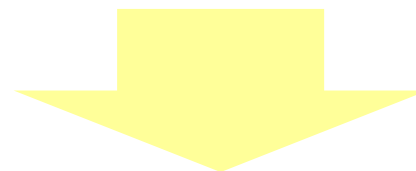
広範囲にわたる情報収集



高度な技術による情報分析

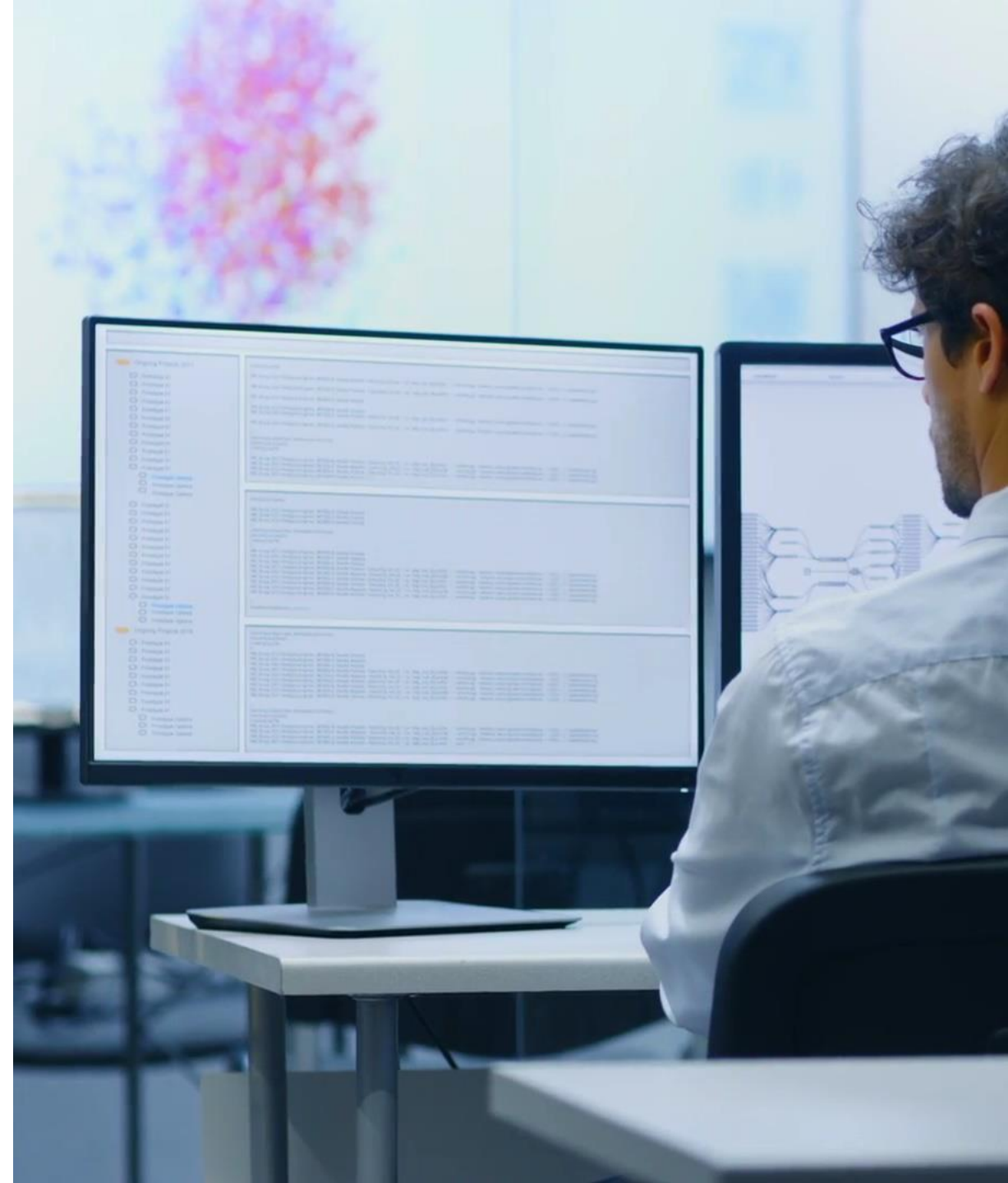


パッケージング・プロダクション



リーダーによる意思決定

ライフサイエンスAI事業



会話型 認知症診断支援AIプログラム 2021年4月より臨床試験開始

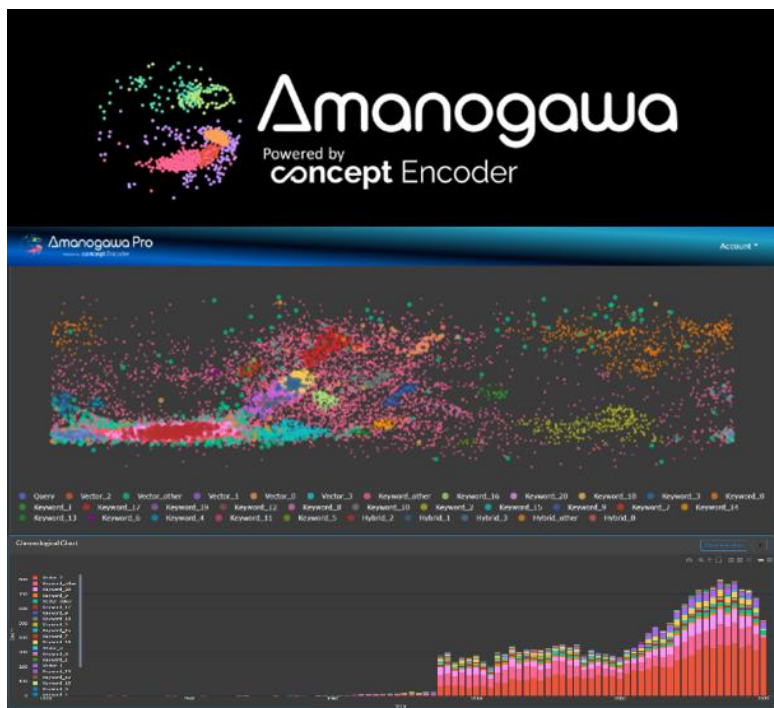
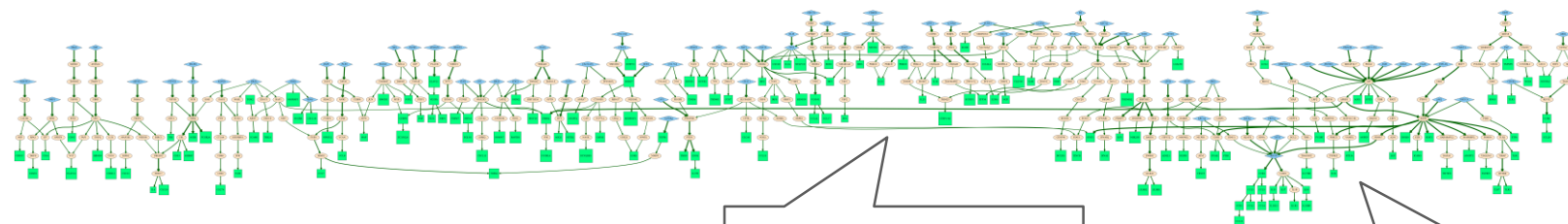


- リモート診療
- 早期発見
- 一般医でも診断可能

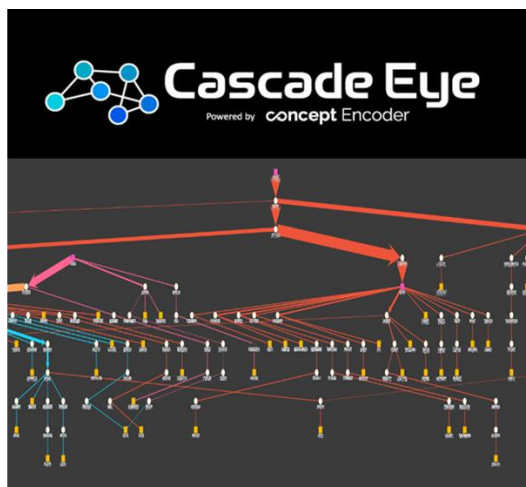
骨折スクリーニングAIプログラム開発開始



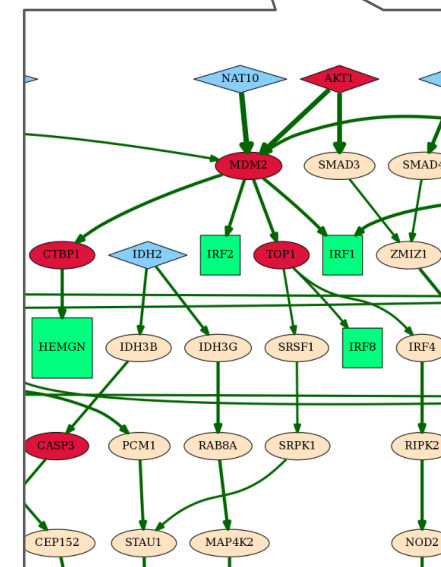
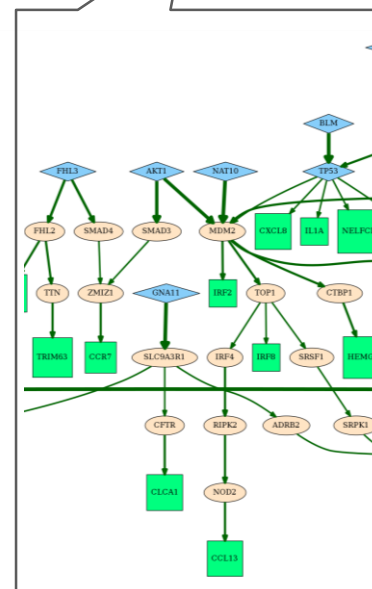
AIの活用により創薬プロセスを抜本的に変革



論文探索



疾患のメカニズムの可視化



ビジネスインテリジェンス事業



DX × 自然言語

法務・知財部



訴訟支援AI
知財戦略AI

人事部



新卒採用、離職予兆AI
ハラスメント予兆AI
メンタルヘルス予兆AI

経営企画部



AI活用構想策定

コンプライアンス部



コンプライアンスリスク
予知AI

工場・建設現場



技能伝承AI
危険予知AI

マーケティング部



市場・競合調査AI

営業部



営業チャンス発見AI

コールセンター



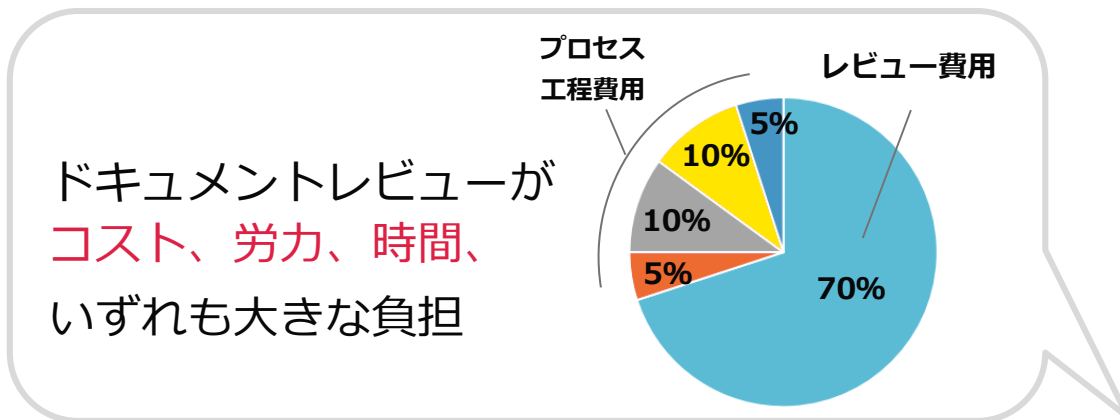
苦情分類・要望抽出AI

リーガルテックAI事業



リーガルテックAI事業とは？

第三者調査委員会・特許侵害訴訟・品質不正調査・カルテル調査



Collection



Data Process



Document Review



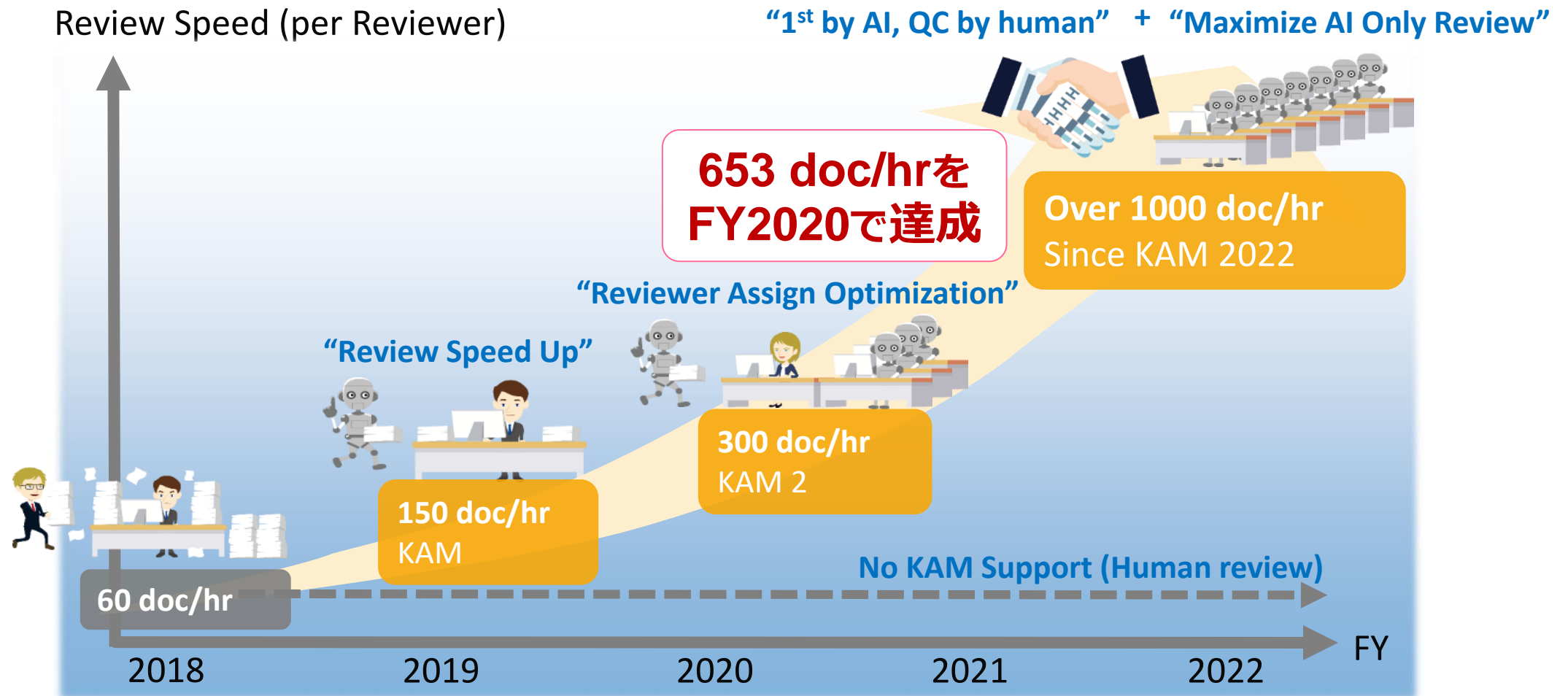
Production



Hosting

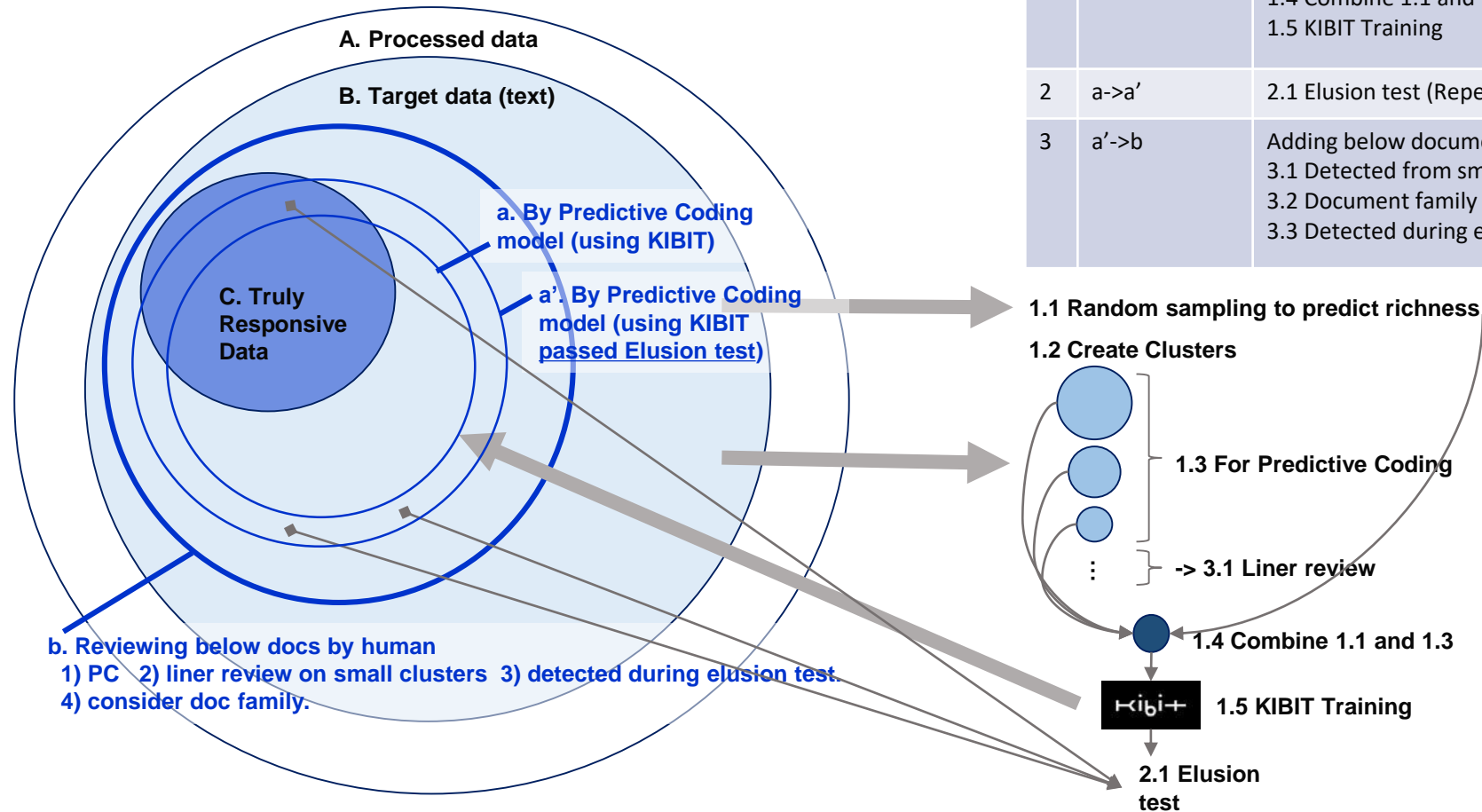
KIBIT Automator 性能向上

レビューの全自動化に向かい、レビュー速度1000doc/hr達成を目指す



膨大なデータセットの全容把握による方針策定

There are data refining process for predictive coding.
 Pre-condition: Target data is text , other format data is individually reviewing (out of scope this consideration). **Defensively is very important.**



#	Review area	Defining process
1	a	1.1 Predict Richness 1.2 Clustering 1.3 Sampling from clusters 1.4 Combine 1.1 and 1.3 1.5 KIBIT Training
2	a->a'	2.1 Elusion test (Repeat 1.2, 1.3)
3	a'->b	Adding below documents 3.1 Detected from small clusters (1.1) 3.2 Document family 3.3 Detected during elusion test

經濟安全保障

Intelligence for
Economic Statecraft



最先端技術のデュアルユース
(軍民両用の革新的技術)
新国際秩序が生まれる



取り組むべき項目



1. 現状の把握
2. 戦略の策定





1. 誰がどのような最先端技術（機微技術）を持っているのか？

2. 事実上の企業の支配者は誰か？

3. サプライチェーン安全と健全性（反社会勢力との関係）は？



戦略的意思決定のための インテリジェンス基盤





予兆発見、行動分析、治療薬開発・・・

企業活動は情報戦



有事のみならず、平時から継続的な

インテリジェンス基盤 が必要



テクノロジーを活用した情報分析基盤

Combat Direction Center(CDC)

事象やそれに対する活動の全体像を把握
優先順位を付けた戦略的な対策
得意分野を生かした分業や協業



目指すもの

記録に埋もれたリスクとチャンスを見逃さない
テクノロジーにより、社会のフェアネスを実現

今を識り、未来を識るインテリジェンス



訴訟



捜査



製造



医療



マーケティング



金融



教育



農業

謝 辞



津本 周作 先生

IEEE SMC TC on Granular Computing Chair
島根大学 医療情報学 教授



玉井 克哉 先生

東京大学先端科学技術研究センター 教授
/信州大学経法学部総合法律学科 教授



大澤 幸生 先生

東京大学大学院工学系研究科
システム創成学専攻 教授



伊藤 憲二 先生

森・濱田松本法律事務所
パートナー弁護士



池 卓実 氏

東京海上日動火災保険株式会社
CX・プロセスデザイン部
お客様の声室 担当課長 兼
業務品質部企画グループ 参事



大川 和哉 氏

シミック株式会社
臨床事業部 部長



小川 隆 氏

MOLCURE Inc.
共同創業者 CEO



小諸 信宏 氏

セコメディック病院
医療安全管理室 室長



佐々木 毅尚 氏

「リーガルオペレーション革命」
著者



戸倉 健太郎 氏

三井住友建設株式会社
技術本部 デジタルコンストラクション推進部長



馬場 研一 氏

昭和電工株式会社
生産技術部 部長